

調査研究の経緯

特別研究：臍帯血の医薬品化に関する研究

目的：臍帯血を医薬品とすることができるか否かを調査研究する

経緯：平成17年度 中畑班にて調査開始（主に海外での調査）

平成18年度 中畑班と加藤班による合同調査に移行

平成19年度 加藤班の研究として継続

1. 法律、指針による基準との整合性 （山口一成、小澤敬也）
2. GMP基準、GTP基準適用の妥当性（川上浩司、山口照英）
3. 国内臍帯血バンク技術水準 （高梨美乃子、甲斐俊朗）
4. GMP基準による細胞処理経費実状（伊藤仁也、前川 平）
5. GMP基準での細胞処理の経費試算（河原和夫）
6. 国際的な動向の調査 （高橋恒夫、川上浩司）
7. ヒト幹細胞臨床応用基準との整合性（中畑龍俊）
8. 総括 （加藤俊一）